

## 馬淵川水辺の楽校（右岸）が利用可能となりました！

～ ご家族で、環境学習で、ご利用下さい。 ～

馬淵川水辺の楽校（国道104号大橋下流右岸）のせせらぎ水路内において、昨年7月に大量発生が確認された外来種の巻き貝「コモチカワツボ」について、青森河川国道事務所では、再発防止対策として冬期間（12月1日～4月18日）の水路内への通水停止を行っておりました。

このたび、ゴールデンウィークを迎えるにあたり、4月19日に通水を再開し、**通水後の生息分布モニタリング調査により、コモチカワツボの生息個体が確認されなかったことを受けて、水辺の楽校（右岸）が利用可能となりました**のでお知らせします。

### 【これまでの対応状況】

- 4月14日（木）まで 水辺の楽校（右岸）津波遡上被害復旧・清掃作業
- 4月15日（金） 通水前の生息分布モニタリング調査
- 4月19日（火） せせらぎ水路への通水再開
- 4月22日（金） 通水後の生息分布モニタリング調査

『青森河川国道事務所からのお願いです』

- ・津波の影響により、水辺の楽校周辺では危険な箇所もありますので、利用にあたっては十分な注意をお願いします。
- ・水辺の楽校（左岸）は、津波の影響によりワンド内に土砂が堆積し、現在利用困難な状況となっております。今後、様子を見ながら順次復旧していきます。

### ■ 添付資料：

- 参考資料－1 通水再開後の「コモチカワツボ」生息分布モニタリング調査結果
- 参考資料－2 3月11日東日本大震災 津波遡上後の水辺の楽校状況写真

記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

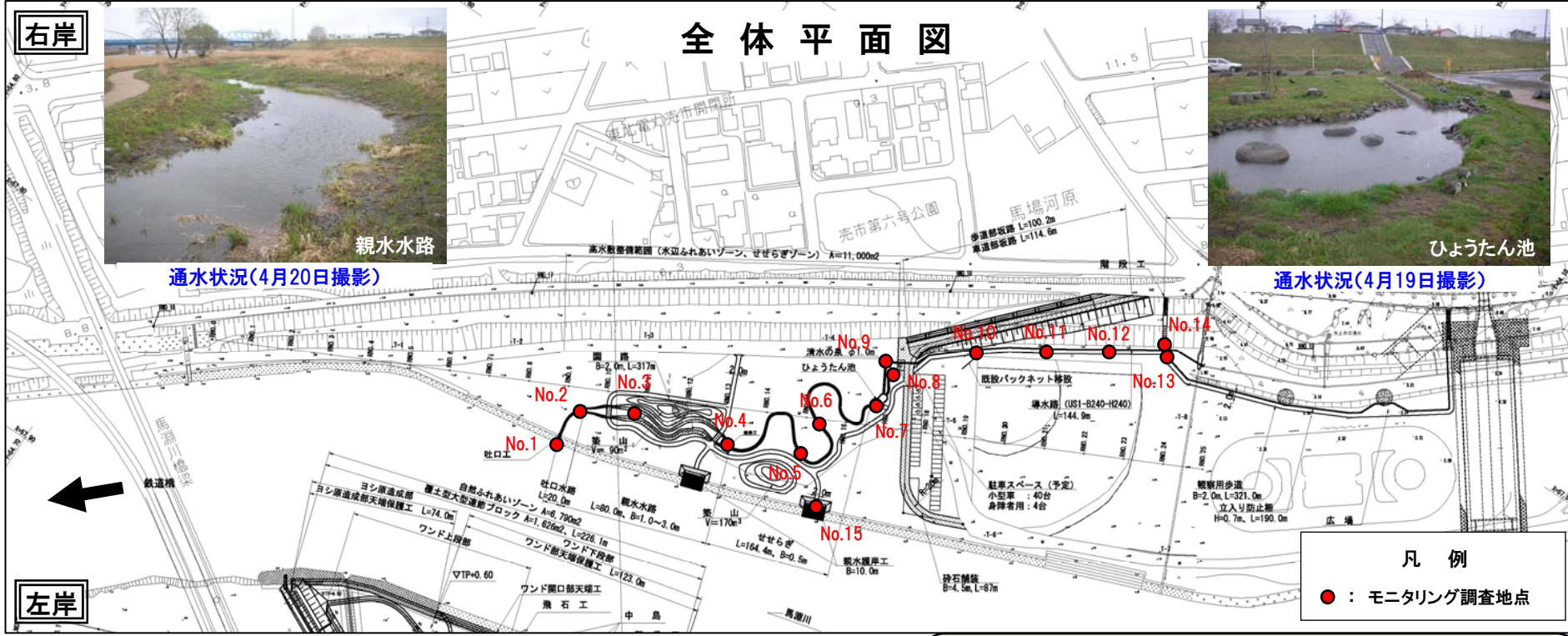
### 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所  
住所：青森市中央三丁目20-38  
電話：017-734-4521（代表）  
副所長（河川） 荒木 勝彦（内線204）  
調査第一課長 福田 修（内線351）

# ■ 通水再開後の「コモチカワツボ」生息分布モニタリング調査(第10回)結果

【参考資料-1】

- 実施目的 : 冬期間において通水を停止(コモチカワツボ再発防止対策)していた、せせらぎ水路の通水再開後の現況を把握することを目的に実施
- 実施日 : 平成23年 4月22日(金) ※通水再開(4月19日)より3日後
- 実施箇所 : 水辺の楽校(右岸)周辺 (No.1~No.15)
- 実施内容 : 水辺の楽校(右岸)せせらぎ水路: 水路部、水際積石部、草地部における円柱管を用いた定量的採集(No.2~No.9の計8地点)  
: 目視およびタモ網捕獲



**【調査結果概要】**

- コモチカワツボは15地点中いずれの箇所でも確認されなかった。
- 通水再開後のせせらぎ水路には、生息する生物は未だ少ないものの、ユスリカ科幼虫やミミズ類の生息が確認され、通水後短期間で生物の進入が見られた。

4月19日の通水再開後もこれまでと同様に対象地域における「コモチカワツボ」の生息個体はいないものと判断される。

【水辺の楽校(左岸)】



【水辺の楽校(右岸)】

